

ふくし TIME'S

<http://www.knsyk.jp>

福祉タイムズ



ともしび運動

1

2011 No.710



みんな仲良し 楽しい暮らし

〈写真・菊地信夫〉

第31回ともしびポスターコンテストで、「ともしび大賞」を受賞した熊崎葉月さん（相模原市立淵野辺小学校5年）。

「みんながともに生きるまち」をテーマに描いた作品には、明るいピンク色を背景に、お年寄りや障害のある方、子どもたちなど多くの人々が笑顔で寄り添う様子が描かれている。

「毎朝、地域のおじいさん・おばあさんたちが、安心して登校できるように、横断歩道などで見守ってくれています。大人になったら恩返しをしたいし、私も地域の子どもたちを守りたい。皆で支え合い、楽しく暮らせる町にしていきたいです」と話す熊崎さん。その思いは、皆を支える大きな手に込められている。

「ポスターを多くの人に見てもらい、皆が元気になってほしい」熊崎さんの笑顔は、ひまわりのように明るく元気いっぱいだった。

CONTENTS

年頭挨拶

ともしび基金をはじめ、皆さまの温かい心に感謝申し上げます！ ほか 2

NEWS & TOPICS

2010年福祉の動き 4

FOCUS「利用者本位を地域で支える」 6

でかけてみませんか 7

連載

社会的ケアの広がり～個人と家族を支える～第10回 8

第24回ともしび絵本コンテスト大賞受賞者紹介 12

恭賀新年

皆さま方には、穏やかに新年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は、小惑星探査機「はやぶさ」の帰還、日本人科学者二名のノーベル賞受賞など、自然科学分野の活躍に勇気を得た方も多いのではないでしょうか。

社会や暮らしに目を向けますと、相模原市が政令指定都市となり、横浜市・川崎市とともに、本県は三つの政令指定都市を抱える全国唯一の県となりました。また、高齢者の所在不明が全国的に大きな社会問題となり、地域における見守り活動などが改めて注目された年でもありました。

本会では、福祉を取り巻く新たな状況を踏まえ、平成二十三年度を初年度とする活動推進計画の策定に取り組みしております。新しい年を迎え、新たな計画のもと、会員の皆さまや地域で活動する多くの方々との協働において、誰もが安心して生活できる地域づくりを推進してまいりたいと考えております。

皆さまには、旧年にも増して、ご理解、ご支援を賜りますとともに、実り多い素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



社会福祉法人
神奈川県社会福祉協議会

会長 林 英樹

「ともしび基金をはじめ、皆さまの温かい心に感謝申し上げます！」

本会では、「ともしび基金」を支える「ともしび基金」をはじめ、「かながわ交通遺児援護基金」「かながわ子ども福祉基金」「萬谷児童福祉基金」を設置しています。

概要は次表のとおりですが、基金以外にも、福祉車両や車いすなどの寄贈、コンサートやスポーツなどの催しへの招待、本業を生かしたボランティア活動の実施など、さまざまな形での寄託金品の

受け入れと配分を行っています。

特に十二月は、障害者週間（毎年三日〜九日）も重なることから、「ともしび基金」の集結を実施しており、皆さまからも多大なご理解とご協力をいただいています。

寄附金は、基金原資として積み立て、その果実（利子）をさまざまな事業に活用しています。

今回は活用の一例として、去る十二月十一日に開催した「第三十回ともしびポスター・第二十四回ともしび絵本コンテスト」表彰式の模様をご報告します（一面・十二面に関連記事掲載）。

一人ひとりの「ともしび」を育む

子どもたちの思いやりや、助け合いの心を育む機会として開催している「ともしびポスター・絵本コンテスト」。本年度県内の学校に通う子どもたちから寄せられた応募作品は、ポスターの部千二百十三点、絵本の部百九十三点。入賞作品九十四点が選出されました。賞状・副賞の授与に続き、次の

名称(設置年)	対象	内容
ともしび基金 (昭和52年) 募金箱設置数 約700カ所	ともしび運動 が目指す「と もに生きる福 祉社会づく り」に向けた 取り組み	①子どもたちの「福祉の心」を育む機会づくり、 ②障害のある方の働く場「ともしびショップ」 への支援、③コミュニケーション手段としての IT利活用支援、④身体機能や生活環境に合っ た日常生活に役立つ自助具の普及、⑤県内のボ ランティアグループや当事者団体が行う福祉活 動への助成など
かながわ交通 遺児援護基金 (昭和46年)	交通事故など による20歳未 満の遺児とそ の世帯	①小・中学校入学時、中学校・高等学校卒業時の 奨励金の支給、②労働災害見舞金の支給を受けて いない世帯への見舞金の支給、③関係団体活動費 の助成、④親子交流会事業の実施
かながわ子ど も福祉基金 (昭和55年)	児童養護施設 等や里親のも とで生活して いる児童	①私立幼稚園への入園や私立高等学校へ入学す る際の奨励金の支給、②民間アパートへ入居す る際の自立支援金の支給、③施設長や里親の身 元保証に伴う損害賠償事業の実施
萬谷児童福祉 基金(平成19年)		4年制大学、短期大学、専門学校などへ入学す る際の支度金の支給

介護支援専門員実務研修受講試験 合格状況

平成二十二年十月二十四日に、

第十三回となる介護支援専門員実務研修受講試験を実施しました。

会場は県内三カ所（青山学院大学他）、受験者数は七、六〇五名、

合格者は一、七五六名（合格率二三・一％）で、全国的にも過去最低の合格率（二〇・五％）でした。

職種別の合格者数は次表のとおり

りです。

毎年増加傾向にある介護福祉士の資格保有者は、昨年比〇・四ポイント増の六九・八％、全国では六八・三％の割合となっています。

合格された方への実務研修は本年二月上旬から、本会、横浜市社協、川崎市社協で実施します。

合格状況

（試験本部担当）

平成22年度介護支援専門員実務研修受講試験 職種（資格）別合格状況

職種	合格者数（人） （ ）内は昨年度	比率（％） （ ）内は昨年度
介護福祉士	1,226 (1,504)	69.82 (69.40)
社会福祉士	162 (130)	9.23 (6.00)
看護師	79 (150)	4.50 (6.92)
介護等業務従事者	73 (125)	4.16 (5.77)
相談援助業務従事者	52 (77)	2.96 (3.55)
栄養士(管理栄養士を含む)	26 (33)	1.48 (1.52)
理学療法士	22 (15)	1.25 (0.69)
作業療法士	19 (17)	1.08 (0.78)
准看護師	16 (9)	0.91 (0.42)
薬剤師	16 (19)	0.91 (0.88)
あんまマッサージ指圧師	13 (19)	0.74 (0.88)
保健師	13 (14)	0.74 (0.65)
精神保健福祉士	13 (9)	0.74 (0.42)
歯科衛生士	12 (25)	0.68 (1.15)
はり師	6 (4)	0.34 (0.18)
歯科医師	4 (3)	0.23 (0.14)
言語聴覚士	3 (4)	0.17 (0.18)
医師	1 (0)	0.06 (0.00)
柔道整復師	0 (7)	0.00 (0.32)
助産師	0 (2)	0.00 (0.09)
視能訓練士	0 (1)	0.00 (0.05)
義肢装具士	0 (0)	0.00 (0.00)
きゆう師	0 (0)	0.00 (0.00)
計	1,756 (2,167)	100.00 (100.00)

講評をいただきました。

土田那彦審査委員長（画家）

「皆さんの感性や表現力、メッセージは素晴らしい。これからも心の『ともしび』を灯して、より多くの方に伝えてください」

井上達也審査副委員長（県立総合教育センター）

「『言語活動』に力を入れていく、言葉を豊かに使う力を養った

と思います。この経験を大切に」

ともしび運動の願いが込められ

た作品を通じて、世代を超えた共感が得られ、次代に受け継がれていく事業になるよう、努力してまいります。

（ともしび運動推進担当）



表彰式では大賞・最優秀賞・優秀賞・佳作の順に賞状と副賞が手渡された

- 【一般寄附金】▽協隆志▽広瀬公子【交通遺児援護基金】▽神奈川県石油業協同組合▽株小田原ジムキ【子ども福祉基金】▽県社会福祉会館【ともしび基金】▽横浜市西区浴場組合▽横浜市西区浴場組合▽記念湯▽新町浴場▽第二常盤湯▽第二大和湯▽中島湯▽藤の湯▽丸子温泉▽南よし乃湯▽喜久の湯▽JA神奈川県信連▽JA横浜▽JA七瀬川崎▽JA湘南▽JAかながわ西湘▽ともしびショップ県庁店▽ともしびショップ県民センター店▽ともしびショップミュージアム▽ともしびショップスマイル▽ともしびショップグッズコーナー▽ミニショップほいんと▽ともしびショップ青い鳥▽ともしびショップ輝▽ともしびショップさくら▽ともしびショップファースト▽ともしびショップ保健福祉大学▽ともしびショップマリン▽ともしびショップゆめ散歩▽ガリバー1号戸塚店▽ゴルフガーデンフォレスト▽情報労連神奈川県協議会▽スリーエフ大磯国府店▽富士シテイオ(株)▽株ビッグウェーブ▽妙深寺婦人会▽神奈川県ゴルフ協会▽株神奈川健康生きがいづくりアドバイザー協議会▽日向台病院▽介護老人保健施設リバーイースト▽聖テレジア病院▽横須賀老人ホーム▽葉山町(福)箱根町社会福祉協議会▽株神奈川県薬剤師会▽株神奈川県看護協会▽福神奈川県総合リハビリテーション事業団(福)神奈川県社会福祉事業団(株)神奈川県土地建物保全協会▽株神奈川県厚生福利振興会▽株神奈川県住宅供給公社▽株神奈川県道路公社(財)神奈川県身体障害者連合会(財)神奈川県老人クラブ連合会▽一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会(株)フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会▽株神奈川県心身障害児者父母の会連盟▽株神奈川県肢体不自由児者父母の会連合会▽一般社団法人神奈川県保育会▽株神奈川県保育士会▽ゆりの会▽株神奈川県医療福祉施設協同組合(財)神奈川県福祉協会(株)神奈川県ホームヘルプ協会▽株神奈川県交通遺児家庭の会▽福神奈川県共同募金会(株)神奈川県障害者地域作業所連絡協議会▽株神奈川県手をつなぐ育成会▽株神奈川県知的障害施設団体連合会▽やまゆり知的障害児者生活サポート協会(株)神奈川県社会福祉士会▽株神奈川県警察本部▽株神奈川県職員一同▽株カレンズ▽株神奈川県定年問題研究会▽株シュガーレディー▽株神奈川県警察本部▽株神奈川県職員一同(敬称略)

福祉の動き

○全国の動き ◇県内の動き ★本会の動き

福祉関連の動き (○数字は本紙での関連記事掲載月)	社会のうごき・事件・事故
<p>○厚労省、「自殺・うつ病等対策プロジェクト」を設置</p> <p>○法務省の研究会在が、父母による児童虐待防止に向けた民法の親権制度見直しに向け提言</p> <p>○認知症疾患医療センター(東海大病院)、かながわ認知症コールセンター(社認知症の人と家族の会 神奈川県支部)が開設</p> <p>★県福祉作文コンクール表彰式開催②</p> <p>○「いのちを守る自殺対策緊急プラン」(自殺対策緊急戦略チーム)策定。3月を「自殺対策強化月間」に</p> <p>★ともしびショップハッピーベジタブル(横須賀市)オープン</p>	<p>▽最新3D映画「アバター」が入場料合計で世界一に</p> <p>▽中南米ハイチでM7・0の大地震発生</p> <p>▽バンクーバー五輪開幕</p> <p>▽海老名市、県内自治体初となる還暦式を開催</p> <p>▽アメリカの国会で国民の誰もが「医療保険」に加入できる法律が認められる</p> <p>▽足利事件、菅家利和さんの無罪が確定。裁判官が謝罪</p>
<p>○「平成22年度における子ども手当の支給に関する法律」(子ども手当法)成立。6月より支給開始</p> <p>○厚労省、09年12月の生活保護を受けた実人数(速報値)が約53年ぶりに180万人を超えたことを公表</p> <p>○厚労省、経済連携協定(EPA)に基づき介護福祉士候補者の実態調査結果を発表。利用者の6割が「おおむね満足」と回答</p> <p>○厚労省、特養で介護職員が行う、たんの吸引等を一定の条件下で認める方針を決定</p> <p>○県、「神奈川県地域福祉支援計画」改定</p> <p>★福祉タイムズ700記念号発行</p>	<p>▽再来年完成予定の東京スカイツリーが、東京タワーの高さを超え338メートルに</p> <p>▽中国の青海省でM7・1の大地震発生</p> <p>▽宇宙飛行士山崎直子さん、15日間の旅を終え地球へ帰還</p> <p>▽相模原市、政令指定都市へ移行</p>
<p>○「子ども・若者育成支援推進法」施行</p> <p>○内閣府の調査で、全国の60歳以上の男女で孤独死を身近に感じる人は42・9%で、単身世帯では64・7%だったことが明らかに</p> <p>○厚労省の調査で、グループホームの約6割でスプリングクラが未設置。1ユニットでの夜勤人数が1人の施設が97%に上ることが判明</p> <p>○「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク設立。政府に対し貧困率の削減目標を定め、貧困解消に向けた行動計画策定を要望</p> <p>○県、「ボランティア団体等と県との協働の推進に関する条例」(受動喫煙防止条例)を施行</p> <p>○県立6病院の運営主体が、県から地方独立行政法人神奈川県立病院機構へ移行</p> <p>○県介護支援専門員協会、介護保険の居宅介護支援について、自己負担の導入を求めることなどを盛り込んだ提言をまとめる</p> <p>○横浜市教育局は、市立小学校70校に「児童支援専任教諭」を配置。校内で中心的役割を担う</p> <p>★「かながわ成年後見推進センター」開設、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が本会と統合④</p>	<p>▽上海万博開幕。総入場者数約7万3千人で史上最多</p> <p>▽宮崎県で「口蹄疫」発症</p> <p>▽本県で「第61回全国植樹祭」開催</p>
<p>○「改正児童扶養手当法」成立。父子家庭にも児童扶養手当が支給されることに</p> <p>○「子ども・子育て新システム検討会議」幼稚園と保育園を一体化する「こども園(仮称)」の創設など、子育て支援の新たな制度体系案をまとめる</p> <p>○厚労省の調査で、「高齢者世帯」が初めて全世帯の2割を超えたこと、半数以上が「生活が苦しい」と感じていることが明らかに</p> <p>○厚労省、「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」を発表</p> <p>○経産省、「地域生活インフラを支える流通のあり方研究会」が報告書まとめる。高齢者などの買い物弱者を支援するために、流通業者と行政などが連携し、宅配サービス、移動販売などの取り組みを進めることを求める</p> <p>○県、犯罪被害者等支援施設策検証委員会を設置</p> <p>○県、九都府市首脳会議の合意に基づき「特別養護老人ホーム等の整備に関する緊急要望」の実施</p> <p>★IIT活用拠点「パソコンひろば大井」が開所(足柄上郡大井町)⑦</p> <p>★ともしびショップマリン(横須賀市)オープン</p>	<p>▽6日間宇宙で過ごした、宇宙飛行士野口聡一さん地球へ帰還</p> <p>▽小惑星無人探査機「はやぶさ」が、7年ぶりに地球へ帰還</p> <p>▽鳩山首相退陣。菅内閣誕生</p> <p>▽観測史上最高の猛暑。熱中症多発で死者も</p>
<p>○「改正育児・介護休業法」施行。3歳までの子を養育する労働者が利用できる短時間の勤務制度等の義務化等</p> <p>○厚労省が「イクメン」プロジェクト。男性の育児参加後押し</p> <p>○政府、新年金制度の基本原則をまとめる</p> <p>○県、色覚障害当事者によるカラーバリアフリー相談の実施</p> <p>★ともしびショップ2号店ハッピーベジタブル(横須賀市)、ともしびショップアズ・ア・パードやすらぎ荘(藤沢市)オープン</p>	<p>▽再来年完成予定の東京スカイツリーが、東京タワーの高さを超え338メートルに</p> <p>▽中国の青海省でM7・1の大地震発生</p> <p>▽宇宙飛行士山崎直子さん、15日間の旅を終え地球へ帰還</p> <p>▽相模原市、政令指定都市へ移行</p>
<p>○「子ども・若者育成支援推進法」施行</p> <p>○内閣府の調査で、全国の60歳以上の男女で孤独死を身近に感じる人は42・9%で、単身世帯では64・7%だったことが明らかに</p> <p>○厚労省の調査で、グループホームの約6割でスプリングクラが未設置。1ユニットでの夜勤人数が1人の施設が97%に上ることが判明</p> <p>○「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク設立。政府に対し貧困率の削減目標を定め、貧困解消に向けた行動計画策定を要望</p> <p>○県、「ボランティア団体等と県との協働の推進に関する条例」(受動喫煙防止条例)を施行</p> <p>○県立6病院の運営主体が、県から地方独立行政法人神奈川県立病院機構へ移行</p> <p>○県介護支援専門員協会、介護保険の居宅介護支援について、自己負担の導入を求めることなどを盛り込んだ提言をまとめる</p> <p>○横浜市教育局は、市立小学校70校に「児童支援専任教諭」を配置。校内で中心的役割を担う</p> <p>★「かながわ成年後見推進センター」開設、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が本会と統合④</p>	<p>▽再来年完成予定の東京スカイツリーが、東京タワーの高さを超え338メートルに</p> <p>▽中国の青海省でM7・1の大地震発生</p> <p>▽宇宙飛行士山崎直子さん、15日間の旅を終え地球へ帰還</p> <p>▽相模原市、政令指定都市へ移行</p>
<p>○「改正児童扶養手当法」成立。父子家庭にも児童扶養手当が支給されることに</p> <p>○「子ども・子育て新システム検討会議」幼稚園と保育園を一体化する「こども園(仮称)」の創設など、子育て支援の新たな制度体系案をまとめる</p> <p>○厚労省の調査で、「高齢者世帯」が初めて全世帯の2割を超えたこと、半数以上が「生活が苦しい」と感じていることが明らかに</p> <p>○厚労省、「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」を発表</p> <p>○経産省、「地域生活インフラを支える流通のあり方研究会」が報告書まとめる。高齢者などの買い物弱者を支援するために、流通業者と行政などが連携し、宅配サービス、移動販売などの取り組みを進めることを求める</p> <p>○県、犯罪被害者等支援施設策検証委員会を設置</p> <p>○県、九都府市首脳会議の合意に基づき「特別養護老人ホーム等の整備に関する緊急要望」の実施</p> <p>★IIT活用拠点「パソコンひろば大井」が開所(足柄上郡大井町)⑦</p> <p>★ともしびショップマリン(横須賀市)オープン</p>	<p>▽6日間宇宙で過ごした、宇宙飛行士野口聡一さん地球へ帰還</p> <p>▽小惑星無人探査機「はやぶさ」が、7年ぶりに地球へ帰還</p> <p>▽鳩山首相退陣。菅内閣誕生</p> <p>▽観測史上最高の猛暑。熱中症多発で死者も</p>
<p>○「改正育児・介護休業法」施行。3歳までの子を養育する労働者が利用できる短時間の勤務制度等の義務化等</p> <p>○厚労省が「イクメン」プロジェクト。男性の育児参加後押し</p> <p>○政府、新年金制度の基本原則をまとめる</p> <p>○県、色覚障害当事者によるカラーバリアフリー相談の実施</p> <p>★ともしびショップ2号店ハッピーベジタブル(横須賀市)、ともしびショップアズ・ア・パードやすらぎ荘(藤沢市)オープン</p>	<p>▽再来年完成予定の東京スカイツリーが、東京タワーの高さを超え338メートルに</p> <p>▽中国の青海省でM7・1の大地震発生</p> <p>▽宇宙飛行士山崎直子さん、15日間の旅を終え地球へ帰還</p> <p>▽相模原市、政令指定都市へ移行</p>
<p>○「改正児童扶養手当法」成立。父子家庭にも児童扶養手当が支給されることに</p> <p>○「子ども・子育て新システム検討会議」幼稚園と保育園を一体化する「こども園(仮称)」の創設など、子育て支援の新たな制度体系案をまとめる</p> <p>○厚労省の調査で、「高齢者世帯」が初めて全世帯の2割を超えたこと、半数以上が「生活が苦しい」と感じていることが明らかに</p> <p>○厚労省、「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」を発表</p> <p>○経産省、「地域生活インフラを支える流通のあり方研究会」が報告書まとめる。高齢者などの買い物弱者を支援するために、流通業者と行政などが連携し、宅配サービス、移動販売などの取り組みを進めることを求める</p> <p>○県、犯罪被害者等支援施設策検証委員会を設置</p> <p>○県、九都府市首脳会議の合意に基づき「特別養護老人ホーム等の整備に関する緊急要望」の実施</p> <p>★IIT活用拠点「パソコンひろば大井」が開所(足柄上郡大井町)⑦</p> <p>★ともしびショップマリン(横須賀市)オープン</p>	<p>▽6日間宇宙で過ごした、宇宙飛行士野口聡一さん地球へ帰還</p> <p>▽小惑星無人探査機「はやぶさ」が、7年ぶりに地球へ帰還</p> <p>▽鳩山首相退陣。菅内閣誕生</p> <p>▽観測史上最高の猛暑。熱中症多発で死者も</p>
<p>○「改正育児・介護休業法」施行。3歳までの子を養育する労働者が利用できる短時間の勤務制度等の義務化等</p> <p>○厚労省が「イクメン」プロジェクト。男性の育児参加後押し</p> <p>○政府、新年金制度の基本原則をまとめる</p> <p>○県、色覚障害当事者によるカラーバリアフリー相談の実施</p> <p>★ともしびショップ2号店ハッピーベジタブル(横須賀市)、ともしびショップアズ・ア・パードやすらぎ荘(藤沢市)オープン</p>	<p>▽再来年完成予定の東京スカイツリーが、東京タワーの高さを超え338メートルに</p> <p>▽中国の青海省でM7・1の大地震発生</p> <p>▽宇宙飛行士山崎直子さん、15日間の旅を終え地球へ帰還</p> <p>▽相模原市、政令指定都市へ移行</p>

7	8	9	10	11	12
<p>○「改正臓器移植法」施行 15歳未満の臓器移植が可能に</p> <p>○「改正障害者雇用促進法」施行。対象事業主の拡大、短時間労働への対応が盛り込まれる</p> <p>○厚労省「障害者自立支援法による障害福祉サービス移行状況調査」結果を発表。障害福祉サービス新体系へ移行率54.2%</p> <p>○法制審専門部会、子どもを虐待した親の親権を一時的に制限する制度を創設することを盛り込んだ中間試案をまとめる。社団法人の未成年後見見容認も</p> <p>○厚労省、「生活保護受給者の社会的な居場所づくり」と新しい公共に関する研究会」が生活保護受給者の自立に向け居場所作りに取り組むことを提案</p> <p>★福祉のしごとフェア2010ー今夏は茅ヶ崎市で開催⑧</p>	<p>○成年後見制度に関する初の世界会議が横浜で開催。公的支援システムを構築することを盛り込んだ「横浜宣言」を採択。</p> <p>○大阪府、貧困ビジネスを規制するための「被保護者等に対する住居・生活サービス等提供事業の規制に関する条例案」を発表</p> <p>○100歳を超える高齢者のうち、所在不明者が全国に多数いることが判明</p> <p>○県内で障害者雇用に積極的に取り組む中小企業等の認証制度を創設し、認証企業が使用できるシンボルマークと愛称決まる</p> <p>★障害福祉施設・社会就労センター両協議会の共催により、障害者権利条約についての研修会開催⑨</p> <p>★ともしびショップなのはな(二宮町)オープン</p>	<p>○厚労省、2009年の福祉事務所の現況調査結果を公表。1/3が生活保護担当者の配置基準を満たさず</p> <p>○厚労省、「虐待通告のあった児童の安全確認の手引き」を作成。都道府県・指定都市などに通知</p> <p>○文科省、「廃校施設等活用状況実態調査」の結果を発表。今後、廃校施設の福祉施設への転用も促進</p> <p>○国立社会保障・人口問題研究所の推計で、自殺やうつ病に起因する経済的損失が、09年の1年間で2兆6782億円に上ることが判明</p> <p>○国立障害者リハビリテーションセンター研究所などが認知症の支援ロボット開発</p> <p>○県、介護ロボット普及に向け、モデル事業をスタート</p>	<p>○政府、待機児童ゼロ特命チームを発足</p> <p>○日本盲人社会福祉施設協議会の調査で、55%の視覚障害者が盲導犬所有考えてないことが判明</p> <p>○若手福祉従事者ネットワークが福祉で働く若者を調査、「生涯仕事したい」8割超</p> <p>○毎日新聞の調査で、公営団地で孤独死1191人、65歳以上の高齢者が87人と73.8%を占めていることが判明</p> <p>◇アピリンピックかながわ開催⑪</p> <p>★「かながわの児童福祉施設で生活する発達障がいを疑われる子どもたちの調査」報告書発行</p> <p>★第59回県社会福祉大会開催⑫</p> <p>★ともしびショップポエム.10(横浜市港南区)オープン</p>	<p>○厚労省、「介護保険制度の見直しに関する意見」をとりまとめ公表</p> <p>○内閣府の調査で、「介護良くなった」51% 経済的・家族の負担減らず</p> <p>○全国社会福祉施設経営者協議会、サービスの質向上など重点課題とした「プラン2015」発表</p> <p>○県立青少年センターがひきこもり対策強化に向けて「ひきこもり地域支援センター」の事業を開始</p> <p>★高校生に仕事の魅力を伝授し綾瀬市「福祉の仕事を知ってもらおうプロジェクト」開催⑬</p> <p>★身近な地域で多文化共生社会の広がりをも「第四回地域福祉推進を考えるセミナー」開催⑭</p>	<p>○厚労省、「外は障害に係る障害等級の見直しに関する専門検討会」が報告書をまとめる。昭和22年から見直しが行われていなかった</p> <p>○国交省・厚労省は、現行の高齢者専用賃貸住宅と有料老人ホームを再編し、「サービス付き高齢者住宅」(仮称)制度創設の方針決定</p> <p>○東京都、職場内で若年性認知症の人を早期発見し、適切な支援に繋げることを目的に「若年性認知症ハンドブック」を作成</p> <p>◇刑務所などの矯正施設を退所した方の社会復帰を支援する「神奈川県地域生活定着支援センター」が、県社会福祉士会に設置</p>
<p>▽本県でがん体験者による、がん患者・家族のためのピアサポート事業がスタート</p> <p>▽大相撲力士の野球賭博問題で、初の大相撲中継中止</p> <p>▽山口・広島大雨被害発生</p>	<p>▽臓器移植法が改正後、始めて家族の同意だけで脳死になった人から臓器が提供される</p> <p>▽1年以上の完全失業者118万人</p>	<p>▽日本振興銀行が破綻。日本で初めてペイオフの実施へ</p> <p>▽大リーグ、マリナーズイチロー選手、10年連続200本安打を記録</p> <p>▽厚労省元局長無罪確定。1年3カ月ぶりに復職</p>	<p>▽奄美豪雨災害発生</p> <p>▽ノーベル化学賞に、北海道大学鈴木章さん、米・パデュー大学根岸英一さん</p> <p>▽名古屋でCOP10開催</p> <p>▽南米のチリで、700メートルの地下に閉じ込められていた33人が、およそ70日ぶりに救出される</p> <p>▽羽田空港の国際線旅客ターミナルオープン</p>	<p>▽尖閣諸島での衝突映像がインターネットで上に流出</p> <p>▽日本APEC(アジア太平洋経済協力)首脳会議等、横浜で開催</p> <p>▽障害児教育 就学先決定は総合判断で。中央教育審議会試算で</p>	<p>▽「国際学力調査」で、日本の子どもの学力が高くなり、世界の中で順位があがったことが判明</p> <p>▽無人探査機「あかつき」が、金星の軌道にのれなかったことが判明</p>

ひきこもりの若者が、自信を回復できる場所や機会を

(N)月一の会の取り組みから

今号では、ひきこもりの若者の本人本位を支えるために、どのような取り組みが大切となっているのか、(N)月一の会代表の梅山明子さんにお話を伺いました。

他者との関わりがない若者

月一の会は、平成十年に、ひきこもる若者とその家族を支えるために家族たちが月に一度語り合うことから始まり、若者の居場所、親の会、講演会などの啓発事業を行ってきました。

梅山さんは、「ひきこもる若者の多くは、日中に家電量販店や本屋、コンビニなどで時間を過ごしていることも多く、自宅や自室に完全に『ひきこもる』のではなく、社会（人）とつながることができなくなっている」と言います。月一の会に関わる方の多くは、十五歳から三十五歳くらいの方で、働いたり学校に行かず、家族以外の他者との人間関係がないそうです。

生きていく力を蓄える居場所

ひきこもることや、他者との関わりを持たないことが本人の性格や努力不足、弱さなど内面にのみあると思われがちですが「人間関係作りの不得手さや、面接で落とされ続け、仕事を得られない経験などから自信を失い、人との関わりを持ってなくなっている。働きたいという気持ちは常に持っているが、すぐに一歩踏み出すことが難しい」と梅山さん。

そうしたことから同じ境遇にいる人たちとの出会いや食事会、楽器を使った演奏会など、コミュニケーション力を付けることや他者



よこはま北部ユースプラザ（運営委託：(N)月一の会）の居場所で開催されたクリスマス会に多くの若者が集まった

とつながる経験ができる居場所があることが大切となります。

社会との接点が、自信の回復に

さらに、自信を回復するために、社会と接する機会を作っていくことも欠かせません。

月一の会では、地域の団体やお祭りの手伝いなどをする有償ボランティア、地域の会社、福祉施設などに協力してもらい職場体験などをを行います。こうした取り組みは、自分自身が社会の役に立ち、必要とされる経験の積み重ねとなり、若者が社会とのつながりを実感し、行動的な気持ちへと変化するきっかけとなります。

梅山さんは、「社会とのつながりが持てなくなってしまう若者がいることの理解が広まり、社会参加できるきっかけを作っていくことに協力してもらいたい」と伝えます。月一の会だけでなく地域の中のさまざまな場面でこうした機会が作られていくことが、本人の気持ちや、生活を支える大切な取り組みとなるのではないのでしょうか。（企画調整・情報提供担当）

一般家庭から大型ビルまで最新のエレクトロ技術により安心と安全を提供します。

京浜警備保障株式会社

代表取締役社長 **岡本 誠 一 郎**

本 社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町5番地10 金港ビル4F内
☎(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1527

神奈川県福祉研究会

（税務・会計の専門家グループ）

- 理 事 伊藤 正孝 ☎045-412-2110
 - 同 桑江 郁男 ☎045-402-4433
 - 同 辻村 祥造 ☎045-311-5162
 - 同 西迫 一郎 ☎046-221-1328
 - 同 林 雄一郎 ☎0466-26-3351
- 代表理事 八木 時雄 ☎042-773-9266

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



きかんし印刷
株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
営業部 TEL045(785)1700(代) FAX045(784)8902
制作部 TEL045(785)1766 FAX045(780)1598
<http://www.kki.co.jp/>

障害のある方々の声が反映された 羽田空港国際線ターミナル (東京都)

障害のある方々の意見を取り入れ、世界トップ水準のユニバーサルデザイン(UD)空港が誕生! 直接声を届け、より便利に快適に育てていくのは私たち。

江戸の町、プラネタリウムも

昨年10月オープンの羽田空港国際線ターミナル。フラットなフロア、低めのチェックインカウンター、21ある電動車いす充電箇所、日本の空港初の屋内補助犬用トイレや案内カウンターの聴覚障害者用磁気ループ、視覚障害者用に昇りと降りでは音程を変えたエレベーターのメロディーなどさまざまな配慮は、障害当事者が参画しての4年に及ぶユニバーサルデザイン(UD)検討委員会の成果です。

1階にはバス・タクシー乗り場や駐車場。2階は到着ロビー。出発ロビーは3階。4・5階はレストラン・土産屋等で、4階は江戸の街並みが再現してあり、5階にプラネタリウムカフェがあります。

鉄道は、東京モノレールと京浜急行。東京モノレールは3階出発ロビーへ直結ですが、横浜方面からの車いす利用ではJR浜松町駅の乗り換えが少し複雑です。京浜急行のホームは地下2階。エレベーターで、あつという間に出発ロビーへ。



低めの案内カウンター

コンシェルジュはサービス介助士

国際線ターミナル駅で迎えてくれたのは、「コンシェルジュ」と呼ばれる案内スタッフ。障害のある方々や高齢者への介助サービスを行っています。出発時は、駅やバスターミナルから航空会社のチェックインカウンターまで、到着時はロビーからターミナルの希望の場所までの介助が受けられます。

85人いるコンシェルジュの、ほぼ全員がサー

今日は ⇒ NPO法人神奈川県障害者
自立生活支援センター がお伝えします!

通称KILC(キルク)。1997年4月設立。障害者の自立生活を目指してピアカウンセリング(障害者による相談事業)や各種情報提供、障害者施策の研究・提言など障害当事者の目線で共生社会の実現を目指した活動を展開。現在、厚木・平塚2カ所を拠点に活動中。

〈連絡先〉(法人本部) 厚木市愛甲953-2
TEL: 046-247-7503 FAX: 046-247-7508
URL: <http://www.kilc.org> E-mail: info@kilc.org

ビス介助士。トイレの案内もあるため、原則として利用者と同性のスタッフが担当。短時間なら、土産や弁当の購入、視覚障害のある方々は外貨両替も手伝ってもらえます。当日案内カウンターで申し込むか、電話もしくはインターネットでの予約も可能。

「フリーストップ機能」のトイレ

UD検討委員会で議論が白熱したのはトイレです。同じエリアに多機能トイレが2カ所近接する所も多くあります。トイレの手すりも右側と、左側のものがあり、どちらかを選べ、扉は手動式で、開けた時に手を離しても閉まらない「フリーストップ機能」が付いています。なお、一般のトイレも、手動車いす利用者が使用できるよう、広いスペースになっています。

取材を通じて、ユニバーサルデザインに障害当事者の声を反映させることが、いかに重要かを痛感しました。今後は2年に1度の事後評価が予定されており、さらに使いやすい空港にするため、私たちの「声」を積極的に届けることが大切だと思いました。



ターミナル内を案内するコンシェルジュ

インフォメーション

■東京国際空港(羽田空港)国際線ターミナルビル

電話 03-6428-0888

(ターミナルインフォメーション)

<http://www.haneda-airport.jp/inter/>

◆ご意見・ご感想は kikaku@knsyk.jp までお寄せください。

高次脳機能障害のある方の社会参加の場と、障害への理解の広がりを

〜久里浜障害者支援センターゆんるりの取り組みから（横須賀市）

これまで本連載では、家族構成の変化を背景に、さまざまな福祉的課題を抱える本人と家族をどのように支援していくか、また、住むべき家を失い、家族や地域と疎遠になりがちな方々などの社会的ケアについて取り上げてきました。

今号は、久里浜障害者支援センターゆんるり（以下、「ゆんるり」）の取り組みから、脳外傷性損傷や脳血管性障害の後遺症による高次脳機能障害で、さまざまな生活課題を抱える本人やその家族の方々を、支えていくために何が必要かを考えます。

分りにくい障害、生活に大きな影響も

交通事故等による脳外傷や、脳血管障害の後遺症などにより、新しいことが覚えられない「記憶障害」、気が散りやすく、同じ間違いを繰り返すなどの「注意障害」、間違えた時の修正や計画の変更ができない「遂行機能障害」、このほか、言いたい言葉が言えない・出てこないことや、他人の話が理解できない、意欲の低下や情動の障害といった症状などが見られる「高次脳機能障害」。見た目では分かりにくく、症状がさまざまな形で表れてきます。

センター長の水村広貴さんは、

「作業工程や人の名前が覚えられない、怒りっぽくなったなど、周囲が、本人の受傷後の変化に驚き、関わることも苦慮します。しかしながら、退院したことで病気が完治したと思いき、どのような症状が出ているか自分自身で認識する『病識』の持ちにくさが、障害の大きな特徴」と話します。

福祉サービスを必要とした場合でも、本人は、これまでの生活から、利用すること自体に抵抗感を感じることもしばしばあります。

そのため、本人の生活全般を家族のみで支えることとなり家族の生活は一変してしまいます。

家族の不安は、家計にも及びます。平成十八年の東京都高次脳機

能障害実態調査（以下、「調査」）によると、家庭の主たる生計者が本人である場合が、四十三・三％に上り、受傷により家庭の経済基盤が不安定となります。退院に際し、家族は、本人が掛けていた民間保険や障害年金の受給など、各種手続きに奔走します。そうした作業で家族が持つ精神的疲労を支えるために、ゆんるりでは、各種

手続きに必要な書類作成の手伝いや、手続きを行う窓口への付き添い、助言なども行っています。

相談員の千葉仁さんは、「家族は、病院や行政から情報を得られなくても、まず何をすべきか、見えにくく情報の整理が、家族にとって必要となります。さらに、本人

の受傷後の変化に戸惑い、障害への正しい理解を持つことが難しくなるため、相談できる支援者が必要」と言います。

不足する社会参加の場所

また、調査からは、約四割の方が「社会参加の場がない」状況であることが明らかとなっており、障害のある方々の多くは既存の作業所等を通じて、社会参加を図りますが、障害の特性から利用に合わないことも少なくありません。

ゆんるりでは、高次脳機能障害のある方を対象とした日中活動の場として「おにぎりカフェゆんるり」を開設し、登録利用者十名、本人の状況に合わせ活動日には、



「おにぎりカフェゆんるり」の店頭。ランチは500円で提供している

ひと・ネットワーク

216

当事者と家族が希望を持って生活ができるように

高次脳機能障害・横浜友の会「はばたき」事務局長 長井祝子



高次脳機能障害・横浜友の会「はばたき」

は1999年12月に設立しました。

脳血管障害、脳炎、頭部外傷等で一命は取り止めたものの、脳に大きなダメージを受け、高次脳機能障害の後遺症に悩む当事者と家族の会です。「はばたき」の会として、当事者と家族のために臨床心理士の先生をお迎えし、認知リハビリ教室、音楽療法士の先生をお迎えして音楽に親しむ会、ポッチャ大会を定期的に開催しています。また高次脳機能障害をより理解するために、勉強会や講演会を適時開催しています。

設立当時、高次脳機能障害はまだまだ社会に知られていませんでした。10年ひと昔と言われますが、最近はテレビ、新聞、マスコミ等に取り上げられたり、当事者自身や家族が執筆した本が出版されたりと、社会に広く知っていただけているのではと思っています。おかげさまで高次脳機能障害だからといって、福祉サービスが受けられないという状況も改善されてきていると思います。高次脳機能障害は障害が多岐にわたり、年齢も幅広く、それぞれにあった福祉サービスやリハビリ、医療、就労等が受けられるように、介護者は家族が突然障害者になり、まるで出口のないトンネルに入ったような暗たんたる思いで、日々介護に追われています。

身体的にも肉体的にも、介護者のケアは切実な問題です。当事者と家族が希望を持ってあたり前の生活ができるように、微力ですが社会に訴えていきたいと思っています。

一日平均五名の利用者と、三名のスタッフで活動し、本人の社会復帰を目指しています。記憶力の低下や仕事の計画を立てることが難しいこと等により、受傷前のように作業が行えず、働くことが難しくなりますが、写真付きで配膳や調理の仕方など、作業手順の分かりやすさを配慮し、本人が主体となって活動を行います。「本人が、自分の力でできたという成功体験が、これからの生活で大切」と千葉さんが話すように、活動を通じて、周囲とのコミュニケーションの仕方を学ぶことや、

作業を続ける体力・集中力があるかなど、自分のできることが何かを理解することで、症状が改善されたり、就職に結びついたりするなどの変化が見られました。千葉さんは「基本的に市内の方

作業を続ける体力・集中力があるかなど、自分のできることが何かを理解することで、症状が改善されたり、就職に結びついたりするなどの変化が見られました。



作業工程を図式化することで、作業がしやすくなる

が利用対象で、受け入れ数にも限界がある。待機者や近隣市町村から利用希望の問合せもあることから、必要としている方が地域に埋もれているのでは」と指摘します。

知識を共有し支援者の広がりを

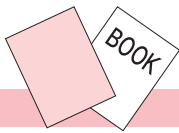
ゆるりるように高次脳機能障

害の特性を理解し、支援することができるとされていますが、作業所や必要とされていますが、作業所やホームヘルプなどの既存のサービスが、高次脳機能障害について理解を深めていくことも求められています。高次脳機能障害と伝えただけで、サービス利用を断られた

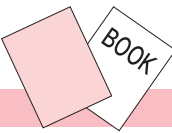
こともあり、相談支援事業所から、本人の状況や配慮する点などを伝える工夫をしているそうです。千葉さんは「本人へのきめ細かな支援のために、事業所同士が相談し合える関係を作り、既存のサービスを上手く活用していくことが必要」と言います。

まずは社会の中で、関係機関が知識を共有し支援者が広がり、地域社会の中で本人・家族が安心できる相談場所が広がっていくこと、居場所づくりを進めていくことが大切となっていくのではないのでしょうか。

(企画調整・情報提供担当)



今月の福祉資料室



◆利用時間:月～金(第3金曜日、祝日、年末年始等を除く)の9時～17時
◆問合せ:☎045-311-8865

新着資料



★シリーズよくわかる福祉政策02 わが国の福祉を人々の生きる希望、生きる力に、平成22年度社会福祉トップセミナー報告(全社協)
★2010年版新任民生委員・児童委員の活動の手引き(全社協)
★2010年度社会福祉研修事業アンケート調査結果(全社協中央福祉学院)
★平成21年度介護従事者処遇状況等調査結果(概要)(厚労省)
★介護保険制度の見直しに関する意見(厚労省社会保障審議会介護保険部会)

★若年性認知症ハンドブック(職場における若年性認知症の人への支援のために)(東京都福祉保健局)
★2010年リウマチ白書・創立50周年記念リウマチ患者の実態(総合編)(日本リウマチ友の会)
★第45回NHK障害福祉賞入選作品集「共に生きる」地域で暮らす心と社会のバリアフリー(NHK厚生文化事業団)
★改正介護保険制度移行後の介護保険サービスの実態に関する調査(日本大学文学部・岡山輝雄)



私のおすすめの1冊

「腎不全を生きる
三十五年の歩みから」

梅田和彦 著

(N) ゆっくりいそご理事長 前田 絢子

現在、この国の慢性透析患者は30万人、しかしそれは氷山の一角とも言われています。

本書は、働き盛りの30代に突然腎不全と尿毒症を患い、透析治療に入られた著者の以後35年の歩みが描かれています。その35年は、日本の透析医療の進展とも重なります。著者は、さまざまな合併症と闘いながら、うつ病も体験、家族の支えや、同病に苦しむ仲間やスタッフとの絆の大切さ、同時に、医療が日々進展する中、患者自らも学ぶ必要があると語りかけています。

病の中で苦しむすべての人に、希望をもって、その人らしく生きてほしいというメッセージが込められた1冊です。



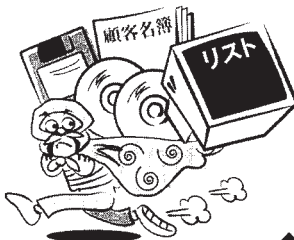
2010年10月発行
頒価1,000円(税込)
ゆみる出版

※書店での取り扱いがないため、購入ご希望の方は、本会までお問合せください。

※蔵書検索もご利用ください! <http://www.knsyk.jp/tosyo/>

しせつの損害補償 プラン①。施設の業務中事故賠償補償②

●ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>



個人情報漏えい対応補償

この補償制度では、施設利用者の個人情報をも漏えいし、施設(法人)が法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合も含みます)の損害賠償金等を補償します。またこの補償は、社会福祉施設を運営する社会福祉法人のみを対象としています。

◆補償金額

	Aタイプ
第三者への損害賠償に関する補償*	3,000万円
ブランド価値のき損を防止・縮減するための補償*	期間中 100万円
免責金額(自己負担額)	0円

◆年額保険料(掛金) 保険期間1年

法人で運営している施設定員数	Aタイプ
～50名	27,000円
51名～100名	34,000円
101名～150名	41,000円
151名～200名	48,000円
以降1名～50名増ごとに	4,000円

補償内容

- 第三者への損害賠償
- 弁護士費用等の訴訟費用
- ブランド価値のき損を防止・縮減するための費用

※介護老人保健施設、有料老人ホームおよび病院は補償対象となりませんので定員数には入りません。
※訪問介護など利用者の自宅で行う居宅サービスなどの利用人数や施設の職員数は合算する必要はありません。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記をお願いします

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(個人情報取扱事業者賠償責任保険)です。〈引受幹事保険会社〉株式会社損害保険ジャパン

*第三者への損害賠償に関する補償およびブランド価値のき損を防止・縮減するための補償は、縮小して補割合90%でお支払いします。〈SJ09-08939.2010/02/19〉

役員会の動き

◇理事会Ⅱ平成22年12月24日(金)①正会員の入会申込、②職員給与規程の一部を改正する規程(案)、③事務局職員就業規程の一部を改正する規程(案)

新会員紹介

◇(経営者部会) (福みどりの風、(福わかば)健康会
 ◇(施設部会) ぎんのすず保育園、保育園おひさまのほっぺ

親族後見人サポートセミナー

◇日時Ⅱ3月5日(土)13時～17時
 ◇会場Ⅱ茅ヶ崎市民文化会館
 ◇内容Ⅱ講義「成年後見人としての基本的な職務や事務手続き」(横浜家庭裁判所)、実践報告(親族後見人)、ワンポイント相談会(相談員・弁護士、社会福祉士、司法書士、行政書士)
 ◇対象Ⅱ親族後見人の方、親族後見人のサポートをしている相談支援機関職員等
 ◇定員Ⅱ80名(参加費無料)
 ◇申込締切Ⅱ2月18日(金)
 ◇問合せⅡ本会かながわ成年後見推進センター
 ☎045-312-5788
 ☎045-322-3559

法人後見実施団体シンポジウム

◇日時Ⅱ3月8日(火)13時～17時
 ◇会場Ⅱ県社会福祉会館
 ◇内容Ⅱ基調講演「新しい地域福祉と権利擁護システム」(講師・(N)

おおさか地域生活ネットワーク理事 長北野誠一氏)、シンポジウム「地域でつくる成年後見のしくみ」(パネリスト・社協、行政、市民団体)

◇対象Ⅱ成年後見制度の推進を担う各種関連の専門職団体、NPO団体、市民グループ、社協、その他当事者支援に関わる相談機関等

◇定員Ⅱ90名
 ◇参加費Ⅱ無料
 ◇申込締切Ⅱ2月18日(金)
 ◇問合せⅡ本会かながわ成年後見推進センター
 ☎045-312-5788
 ☎045-322-3559

看護職のための福祉施設等就労促進セミナー

◇日時Ⅱ①2月14日(月)、②2月21日(月)13時30分～16時
 ◇会場Ⅱ①特別養護老人ホームかいばら苑(小田急線栗平駅から徒歩8分)、②障がい者支援施設横浜らいず(東急東横線綱島駅から徒歩15分、バス停から徒歩3分)
 ◇対象Ⅱ看護師、准看護師、福祉・介護分野での看護師の仕事に興味のある方
 ◇定員Ⅱ各回20名(参加費無料)
 ◇申込方法Ⅱ申込用紙にて郵送またはFAXにて申込
 ◇問合せⅡ本会かながわ福祉人材センター
 ☎045-312-4816
 ☎045-313-4590

これからの災害救援ボランティア活動を語る！講演会のご案内

◇日時Ⅱ2月19日(土)13時～15時

評価結果を公表しました

本会地域密着型サービス外部評価事業として、昨年十二月から本年三月に訪問調査を実施した五事業所の評価結果を公表しました。本会ホームページ(アドレス一面参照)、WAM-NET (<http://www.wam.sojp>) 等で公表いたします。

地域密着型サービス外部評価受審事業所一覧

No.	事業所名	所在地
1	グループホームそよ風	横浜市金沢区
2	いきいき生活館2号館	横浜市中区
3	日限山ホーム	横浜市港南区
4	グループホーム万寿の森	横浜市青葉区
5	グループホームアカシヤの家	横浜市泉区

◇会場Ⅱ県社会福祉会館
 ◇内容Ⅱ特別顧問挨拶・松沢成文県知事、記念講演・石原信男氏(災害救援ボランティア推進委員会会長)
 ◇参加費Ⅱ無料・記念品として冊子「神奈川の安全防災」と「大地震発生 その時どうする」を贈呈します
 ◇問合せⅡ災害救援ボランティア推進委員会
 ☎03-3584-4085
 ☎03-3589-1703

— 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所

東京都港区高輪 2-19-17-808
 TEL 03(3449)1771(代) / Fax 03(3449)1772
 E-Mail yasue@yasue-sekkei.co.jp
 URL <http://www.yasue-sekkei.co.jp/>

新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・アスベスト調査等お気軽にご相談ください



お気軽に相談ください！
 株式会社 **あんざい**
 横浜市港南区下永谷 3-24-29
 TEL 045-822-8497
 FAX 045-824-1303
 mail: anzai@p-anzai.jp

第31回ともしびポスター・第24回ともしび絵本コンテスト絵本の部「ともしび大賞」作品介绍



『笑顔貯金のすゝめ』

横須賀市立久里浜中学校
3年 坂尾 弥咲さん

坂尾弥咲さんが描いた「笑顔貯金のすゝめ」。完成までに2週間を費やした力作は、第24回ともしび絵本コンテストで「ともしび大賞」に輝きました。

表紙に描かれた可愛いブタは、笑顔が貯まる不思議な貯金箱。お年寄りや障害のある方の笑顔が、ハートの形になり「コロッコロンッ」と貯金箱にたまっていく心温まるストーリーは、読む人も笑顔にさせてくれます。

「普段のちょっとした優しさ・思いやりで、いろいろな人の笑顔に出会えるということ、夢のある絵本にして表現しました」と話す坂尾さん。

「笑顔貯金の仲間が増えますように。みんなでHappyに歩いていきたい。みんながともに生きるまち」という最後の文章は、坂尾さんのお気に入り。絵を描くこと以上に、文章を考えるのにとっても苦労したそうです。

神奈川県立総合教育センターの井上達也副審査委員長は「優しい気持ちのこもった素晴らしいアイデア。絵を描くだけでなく、どのような文章にするかを一生懸命考えることは、とても貴重な経験です」と、言葉・文章を豊かに使う『言語活動』の大切さを、講評で話してくださいました。

「絵本を通して、助け合う・協力しようという意識が、少しでもいいから読んだ人の心に芽生えて欲しい。その意識があれば、皆もっと幸せになれると思います」と話す坂尾さんの将来の夢は、優しさ・思いやりを伝える「絵本作家」。一人ひとりの笑顔貯金が、「おなか いっぱいっ」になることが、坂尾さんの願いです。

(ともしび運動推進担当)



発行日 2011年平成23年1月15日 毎月1回15日発行
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4番地の2
編集発行人 鈴木和夫
印刷所 株式会社 神奈川機関紙印刷所

防火管理者の皆様へ

消防用設備等点検時には**無償**で点検推進指導員を派遣し
防火管理者の立会を支援いたします。

広告

交通支障により帰宅が困難に (執筆) 神奈川県温泉地学研究所 杉原英和次長

大規模な地震が発生すると、鉄道や道路に被害が発生します。被害が発生していない場合でも、その後の安全点検や停電による信号機の停止などにより公共交通機能は大幅にダウンします。神奈川県の地震被害想定調査(2009)の結果によると一時的に全県で77万人の帰宅困難者が発生すると想定されています。勤め先等から自宅まで徒歩で帰宅するルートの確認や歩きやすい靴、最低限の飲料水、携行食の確保を行うことと家族と最終的に再会する場所を決めておくことも地震対策の一つです。



倒壊した阪神高速道路 (1995年阪神・淡路大震災)

消防用設備の
安心を保障します



(財)神奈川消防設備安全協会
TEL 045-201-1908